

# (1) 平成24年度横浜市社会教育コーナー管理運営報告書

事業対象施設 横浜市社会教育コーナー 横浜市磯子区磯子3-6-1-1  
事業期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日  
管理運営団体 特定非営利活動法人 横浜市民アクト

## 事業目標

社会教育コーナーが設置されて30年となり、コーナーを拠点に活動している団体はリピーターが多く、活動も活発に見受けられるが全体に高齢化が目立ち、会員減少にも影響している。

そうした団体・グループの活性化や安定した運営に繋がるよう、今年度は会員募集を常時行っている団体に向けDMを送付。希望団体の情報を取りまとめて冊子を1,000冊作成。磯子区内の施設と市内の生涯学習支援センター等へ配架と配布を依頼。手に持って帰れる冊子は好評であり、会員増につながり成果があった。併せて以下の5点を目標とし、事業を進めた。

- 1 生涯学習、地域活動団体（個人）へ安心・安全な場の提供
- 2 生涯学習、地域活動団体（個人）間の交流の機会を創出する。
- 3 生涯学習、地域活動団体（個人）の活動・事業・運営を支援する。
- 4 生涯学習、地域活動の担い手のすそ野を広げる。
- 5 生涯学習、地域活動に関する情報の受発信を充実させる。

## 1 生涯学習・地域活動団体（個人）へ安全・安心な場の提供

① 利用率・利用人数・利用コマ数（別紙：(5) 利用状況年間報告書）

② 登録団体数：419団体（平成25年3月31日現在）

分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数
テニス	129	卓球	5	太極拳	20	ヨガ	3	体操	11
ダンス	54	踊り	4	詩吟	2	朗読	1	演劇	0
人形劇	1	合唱	46	器楽	10	絵画	13	水彩画	14
書道	8	手工芸	5	ゲーム	1	外国語	13	俳句	7
歴史文学	1	パソコン	2	自治会	1	管理組合	10	健康福祉	2
地域市民活動	23	高齢者福祉	1	子育て支援	5	青少年育成	4	その他	23

※その他：上記に該当しない学習会、打合せなど

成果：

### ① 利用率アップへの取組

全体的に、利用率は微増となった。部屋別では研修室B並びにCの利用率が大幅に増えた。これは机と椅子の配置を変え、多様な活動に対応しやすい工夫をした結果につながった。今後も利用者ニーズに沿

った変更を検討していき、利用率アップを目指す。

## ② UR機構との連携強化

当施設は、UR機構が管理する「磯子3丁目団地」1号棟の1階部分に設置されている。そのためUR機構が実施する工事に絡む騒音が発生する場合は事前に相談を受け、実施日の検討並びに利用者への告知を徹底するよう努めた。

## ③ 開館・閉館時間の厳守

決まった時間の開館・閉館を職員全員に意識徹底させ、コミュニケーション良く行った。また窓口では利用者の立場に立った分かりやすい受付案内に努めた。

## ④ 安全安心をモットーの施設運営

安全、安心な利用をモットーに施設内の保全状況等をチェックし、計画的な修繕と業者による定期点検と日頃の業務を通しての点検などに努めた。日常清掃で解決できない内容は次年度の業者による清掃計画に入れ対応。

## ⑤ 事務所内での情報の共有

職員はローテーション勤務のため、普遍的な認識と情報の共有が必要となる。その解決のため日報の活用と定期的に事務所会議を実施し、サービスのばらつき防止に努めた。また、守秘義務の履行、個人情報保護の遵守、情報公開規定による適切な対応を心掛けた。

課題：施設の老朽化は否めないが、日常業務と定期的な業者によるダブルチェックで、事前の対策が可能。年間利用率は微増だが、利用人数は減である。対策として主催事業終了後事後グループを立ち上げ、定期的な利用を促していった。次年度はコーナーの周知（施設や機材の機能をより分かりやすい写真や使い方など紹介資料を作成、配布と同時にホームページへの掲載）に力を入れ利用につなげたい。

## 2 生涯学習・地域活動の相談・コーディネート・情報提供

### ① 相談内容の特徴

市民個人に対し講師や団体・サークルの情報提供はもとより、市内外の施設職員や中間支援機関（支援センター）職員から講師の紹介やプログラムの組み立てや会議の考え方や進め方などの相談も多く寄せられ対応した。今後も各施設や機関などの後方支援も視野に入れながら研修や情報収集に励みたい。

### ② 相談カードの作成

相談対応に温度差があったことを踏まえ、今後は職員全員が対応できるよう研鑽しつつ情報収集に努める。また相談内容を事務所内で共有するため、相談カードを作成し次年度に備えたい。

## 3 生涯学習・地域活動団体（個人）の交流の機会を創出する

### ① おまつりだ！！

目的：社会教育コーナーを知ってもらう啓発事業

日程：7月14日（土）10：00～16：00

対象：子どもから大人まで

参加人数：850人

内容：主催事業の講師や磯子区内NPO等と連携し、コーナー全館を使って「子ども工作広場、人形劇、クラフト体験教室、フリーマーケット、美しく歌う」など実施。

成果：講座受講者の参加や「いそご区民活動支援センター」の出前相談コーナーもあり、以前にまして出演団体（18団体）も参加者も増え出演団体のPRの場にもなり、賑やかな催しとなった。

課題：用意していた昼食用の焼きそばが早々と完売してしまい、多くの方に迷惑をかけた。

## ② 大掃除&交流会

目的：登録団体が一緒に掃除を体験することによりお互いの活動を知るきっかけとする

日程：12月26日（水）10：00～12：30

対象：登録団体

参加人数：56人（26団体48人+アクト会員）

内容：前半は5～6人のグループで各部屋を掃除。（部屋の隅やブラインドなど）きめ細かく皆で力を合わせ実施。後半はお茶を飲みながらの交流タイム。アイスブレイクに簡単なクイズも用意。普段の利用で気が付いたことなども話し合ってもらい提案して頂く時間とした。

成果：和気あいあいと行え、交流の機会も持て有意義なものとなった。

## ③ おやこの広場（協力：ばばばる～ん）

目的：乳幼児を持つ親がつどい、子どもと一緒に遊びを通して交流する。

日程：4月23日～3月25日（毎月最終月曜日）10：30～11：30

対象：乳幼児と保護者

参加人数：185人（親子）

内容：広いトレーニングルームを利用し、親子一緒にの歌遊びや手遊び、紙芝居や専門家による「食育」の話、また各季節の行事も盛り込んだ。

成果：毎月定例で行うことにより、リピート率が上がった。広い部屋を素足で動けることが大きな魅力の様子。協力団体の「ばばばる～ん」や地域のお母さん達（家庭教育学級ばんぷきん等）の協力もあり今後も近隣の子育て拠点（広場）とは違う魅力で開催していきたい。

## ④ ベビーマッサージ

目的：0歳児をもつ親が赤ちゃんとのスキンシップを学びながら交流する

日程：6月5日（火）・9月25日（火）・12月7日（金）・3月5日（火）全4回

対象：0歳児と保護者

参加人数：58組（親子）

内容：ベビーオイルでのマッサージとスキンシップの方法を学びまた講師のリードでの自己紹介などで知り合うきっかけとなり、母親同士の会話も弾んでいる。

成果：親子のスキンシップと併せ親同士のつながりの一助ともなり、またコーナー主催の事業の紹介などでも参加につながった。

課題：近隣にある子育て拠点が次年度無料で実施の予定。これを受け今後の開催への影響がうかがわれる。

#### ⑤ ヨコハマ・エコ・スクール（市地球温暖化対策統括本部の「ヨコハマ・エコ・スクール」登録事業）

目的：地球温暖化防止をはじめとする環境問題などを暮らしに身近な事例などで学び、生活に活かしていく。

日程：2月16日（土）13：30～15：30

対象：一般

参加者数：25人

内容：テーマを「天気がおかしい！地球がおかしい！」とし、講師は横浜地方気象台からの紹介で天気予報士の方をお願いした。前半の講義（局地的大雨・雷・竜巻などからの身の守り方や温暖化の環境への影響など）と後半のマイカップ持参でのティータイムでの質疑応答も積極的に行われた。

成果：地域での反響の一つ、磯子区汐見台団地からの取材もあり、また気象予報士仲間の参加もあり和気あいあいとした雰囲気で行われた。コーナーを知ってもらう機会もなった。

## 4 生涯学習・地域活動団体・サークルの活動・事業・運営を支援する

### ① おはなしの国 おはなし会ボランティア養成講座&公開講座（磯子図書館・読書活動推進プロジェクトとの共催事業）

目的：学校や地域でのおはなし会や読み聞かせの活動をしている人を対象に、基本的な考え方やスキルアップを図ると共に仲間づくりにつなげる。

日程：10月19日～11月30日（金）10：00～12：00

対象：読書活動に関わる人

参加人数：養成講座27人、講演会100人

内容：

回	日程	テーマ	講師
1	10月19日	おはなし会ってな～に？	横浜市戸塚図書館司書
2	10月29日	本を紹介してみよう	元小学校司書教諭
3	11月9日	読み聞かせ・おはなし会の実演	おはなしグループ
4	11月16日	声に出して読んでみよう	おはなしグループ
5	11月30日	公開講座「科学からひろがるふしぎ」	福音館「かがくのとも」編集長

成果：今回は磯子図書館との共催、並びに「読書活動プロジェクト」が企画・運営を担ってくれた。彼らにとっては多くの気づきの場となったようだ。また参加者にとっても基本と実践的な内容が合っていて好評であった。

公開講座は科学絵本の編集者に依頼。一般の絵本とは違った魅力を伝えてもらい、参加者には身近に感じてもらえたようで、活動の選書時に役立ちそうだ。

## ② 読書活動に関わる人のためのボイストレーニング&交流会

目的：活動しているボランティアの情報交換の場とスキルアップの機会

日程：7月3日（火）10：00～12：30

対象：読書活動に関わる人

参加人数：40人

内容：前半は講師「史桜さん」によるボイストレーニング、後半はグループに分かれて交流会

成果：ボイストレーニングに関心ある人が多く呼び水になった。また情報交換により悩みの共有と助言等できた。

課題：活動グループへの周知（広報）が難しく、検討課題である。

## ③ 学校・地域コーディネーター連絡会

目的：学校・地域コーディネーター養成講座（市教委主催）修了生の活動現場での課題の共有、情報交換を定期的に行い、課題解決などを図る。

日程：4月～3月毎月第2水曜日10：00～12：00（全10回）

参加人数：121人（延べ人数）

内容：活動している各校の取組状況の紹介、学校見学（鉄小・中川小）、学校地域コーディネーターフォーラム（学習プログラム見本市・交流会）開催に向け話し合い、準備など

成果：常時10人以上が参加し、活動が初めての方からの様々な質問に皆が丁寧に対応している。時には一緒に考える場もあり、ここでも仲間づくりが進んでいる。情報交換だけではということで協力し創っていこうと現在6月8日に行う「Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム」に向け動いている。

課題：各校コーディネーターの自主的な会であるため、財政的な基盤が脆弱である。今後の検討課題。

## ④ 読書活動に関わる人のためのボイストレーニング教室

目的：学校や地域でのおはなし会や読み聞かせなどで声の届けさせ方や発声の仕方を学び（体験）活動に活かす

内容：火曜日 11：15～12：45

回	日程	内容
1	10月16日	声と身体をつながりを見つけよう ・身体をほぐすストレッチ&マッサージ・腹式呼吸 など
2	10月23日	顔を使って色々な声を発見しよう ・開口 ・母音 ・高い声、低い声
3	10月30日	遠くまで届く声、きちんと伝わる声を手に入れよう ・笑いや泣きの喉を使って など
4	11月6日	自分自身の一番良い声を見つけよう ・全身を使って声を出す ・いい声とは など

講師：史桜（シオ）

参加者数：20人

成果：春に行った「おはなし会ボランティア交流会」で体験された方が仲間に声を掛けてくれ、多くの参加があった。養成講座と併行することで相互に効果的だった。

## 5 生涯学習・地域活動の担い手のすそ野を広げる

### ① グループ活動応援講座

目的：仲間づくり、社会的課題解決の為に活動につなげる養成講座

日程：10月6日～11月10日（土）10：00～12：30（全6回）

対象：地域で活動している又は始めたい人

参加者数：14人

内容：

回	日程	内容	講師
1	10月6日	頭と心をとほぐすコミュニケーション術	参画はぐくみ工房 竹迫和代
2	10月13日	話せる関係づくり&活動の実際を知る	瀬谷長屋門公園 清水靖枝 神奈川区保育ボラグループ 「こぶし」塚原泉
3	10月20日	みんなの想いをカタチにするワークショップ	国立教育研究所 笹井宏益
4	10月27日	実践① 人が集まる企画を作る	夢コミネット 時任和子
5	11月3日	実践② 人が集まる企画を作る	
6	11月10日	企画発表&グループ運営のツボ	竹迫和代・笹井宏益・時任和子

成果：修了生がつながって講座の企画をし、コーナーの次年度事業の一つとなった。

課題：参加者数が少なかった為、予算的に大変厳しかった。内容と開催時期・回数など検討課題である。

### ② おはなし会

目的：子ども達が本に触れるきっかけとして、またおはなしの国養成講座修了生や地域で活動している方達の実践の場

日程：4月21日～3月16日（毎月第3土曜日）全11回

対象：子どもから大人まで

参加者：301人

内容：絵本の読み聞かせ、素話（ストーリーテリング）、紙芝居、手遊び・歌遊びなど

成果：子ども達が本に触れるきっかけとして、また活動者は体験の場としての位置づけも固定しつつあり、毎回楽しみにしている参加者もいて、出演者の励みになっている。他の施設から出演者や講師の相談にもつながっている。

### ③ 家庭教育学級ばんぷきん（一時託児つき）

目的：乳幼児を持つ親たちがつながり、共に子育てや社会的課題などについて学ぶとともに社会参加の一步

とする

日程：10月2日～11月20日（火）10：00～12：00

対象：乳幼児を持つ親

参加者：10人

内容：

回	日程	内容	講師
1	10月2日	ワークショップ～みんなの一日どうしてる？	横浜市民アクト
2	10月16日	子どもの虐待について	CAPかながわ
3	10月23日	防犯について ～日常での心得など～	磯子区役所出前講座
4	11月3日	みんなで楽しむプレイパーク	港南台プレイパーク
5	11月8日	ストレッチ&リフレッシュ	スポーツリーダー 原雪江
6	11月20日	交流会	運営委員

※一時託児は杉田地域ケアプラザに依頼し、登録の方の派遣をお願いした。

子どもたちは別室で保育者が遊びながら対応し、親の手元を離れてよく遊んでいた。

成果：毎年運営委員会を立ち上げて企画・運営を行っている。運営委員も参加者も日常生活で繋がって情報交換をするなどし、仲間づくりの一端を担っている。

課題：参加者が少なかったことは運営委員と一緒に今後の課題として内容や開催時期を含め検討する。

## 6 生涯学習機会の提供

誰でもが気軽に参加でき、共に育ちあい仲間づくりに繋がることを目的に実施。

① -1 美しく歌う金曜クラス・土曜クラス

① -2 美しく歌う金曜秋クラス

① -3 美しく歌う土曜冬クラス

目的：大きな声で歌うことが健康につながることを体感し、また声を合わせて歌うことで一体感を得て集う楽しさを実感する。

日程：①-1：4月6日～7月6日（金）（全8回） 参加者数：29人

-1：4月14日～7月7日（土）（全8回） 参加者数：29人

-2：9月14日～12月21日（金）（全8回） 参加者数：41人

-3：1月12日～3月30日（土）（全9回） 参加者数：48人

時間：10：00～12：00（全コース）

対象：一般

内容：唱歌や童謡を季節に合った内容（各月4～5曲）を講師が選定し、各コース数十曲歌う。

成果：各コースともに事後グループができ、仲間づくりのきっかけとなった。

② -1 キャンパスにアクリル絵の具を使って描く

## －2 キャンパスにアクリル絵の具を使って描くⅡ

目的：創作の楽しさを体感し、アクリル絵の具の表現方法を学ぶ

日程：②－1：5月10日～7月12日（木）10：00～12：30

参加者数：15人

－2：1月22日～3月12日（火）10：00～12：30

参加者数：10人

対象：一般

内容：講師の指導でアクリル絵の具の特性を聞きながら手始めは「赤いリンゴ」を描き、次に自画像から写真を使っての風景画までを完成させる。水彩風にも油絵風にもタッチを変えることができる。

成果：アクリルという具材の使い方を知ってもらいきっかけになった。

課題：目新しい具材であるため、気軽に参加という訳にはいかず、後半は参加者が減少した。

## ③ －1 シニアのためのゆっくり英会話（23年度後期）

－2 シニアのためのゆっくり英会話（24年度Ⅰ）

－3 シニアのためのゆっくり英会話（24年度Ⅱ）

目的：英会話初心者に向けて、英会話の楽しさを学ぶ

日程：③－1：5月14日～7月30日（月）11：15～12：45（全9回）参加者数：25人

－2：9月10日～12月17日（月）13：30～15：00（全10回）参加者数：23人

－3：1月14日～3月25日（月）13：30～15：00（全9回）参加者数：14人

対象：一般

内容：マクミランランゲージハウス社の「English Tree（1）シニアのためのゆっくり英会話」を教材にネイティブの講師が担当した。

成果：其々に事後グループもでき仲間づくりにつながり、コーナーを拠点に活動している。

課題：参加者の英語力に差があることで、教科書の内容をゆっくり進めた結果、予定回数では内容をクリアできず後半を実施した。が参加者にはその丁寧さが好評であった。

## ④ Embrace English !

目的：英語でのコミュニケーション能力を伸ばすことを目的に英会話中級者以上を対象に実施。

日程：5月9日～7月18日（水）10：00～12：00（全9回）

対象：英会で日常会話ができる人

参加者数：14人

内容：テーマに沿った内容を受講者全員が英語で会話を進める。ネイティブ講師の楽しい話題も盛り込んであった。

成果：事後グループができ、現在もコーナーを拠点に英会話を楽しんでいる。

課題：参加者のレベルがまちまちで、知識や学習の視点だけで事業を企画することの難しさを感じた。

## ⑤ －1 もう一度英語をやる秋クラス

－2 もう一度英語をやる冬クラス

目的：中学校の教科書内容をおさらしながら英語の基礎（文法を中心に）学ぶ

日程：－1：9月12日～11月14日（水）11：00～12：40（全10回）参加者数：23人

－2：1月14日～3月24日（水）11：00～12：40（全10回）参加者数：14人



対象：一般

内容：ストーリー形式の学習書「ミライ系 NEW HORIZON でもう一度英語をやってみる」を教科書に学習を進めた。

成果：教材の本が学習を進めるのに適していた。参加者からも好評で、事後グループにつながった。

課題：内容が前半の10回で終了させるにはボリュームがあり、後半部分を急遽設定しつなげた。企画側の詰めの甘さである。

#### ⑥ おはなしの国 夏のイベント（おはなし会&大きな布に絵を描こう）

目的：子ども達が本やおはなしに興味を持ち、おはなし会へ出かけるきっかけをつくる。

日程：8月21日（火）10：00～12：30

内容：夏休み中に実施。お話し会を実施後に一枚の大きな布（270cm×400cm）にみんなで協力して絵を描く。

対象：小学生&未就学児（保護者付き）

参加者数：16人

成果：子ども達が大きな帆布に絵を描き「おはなし会」のバックステージの一部として現在も活用している。夏休みの良い思い出になったようだ。

#### ⑦ 英語でトーク in ISOGO（おもいきり楽しい国際交流との共催事業）

目的：様々な国の出身者をゲストに迎え、母国の文化や習慣などを紹介してもらい、理解を深める。

日程：5月26日～7月28日（土）10：00～12：15（全3回）

内容：各国の文化や習慣など話題満載で、毎回好評で5年目となる。後半はお茶を飲みながら参加者からの質問にも応えるなどで交流を深めた。

対象：英語で会話ができる人など

参加者数：40人

成果：それぞれのお国柄が理解できる内容を映像等も使い紹介した。交流の為のティータイムに参加者全員が話せる工夫をしたのは好評であった。

#### ⑧ 古文書で地元を知る（古文書一九会との共催事業）

目的：古文書解読を通して磯子区を知り、郷土への愛着を深める。

日程：10月24日（水）14：00～16：00

内容：磯子区役所の「いそごまつり」一連事業。磯子の歴史に造詣の深い元神奈川県立公文書館職員を講師に磯子区内の旧家「堤家」に残る古文書をテキストに、江戸時代の磯子の概況を学習した。

対象：一般

参加者数：56人

成果：磯子の歴史を学び、またコーナーを知ってもらうきっかけになった。

## 7 生涯学習・地域活動に関する情報の受発信

### ① メンバー募集冊子の作成&配布

活動団体の課題の一つに会員の減少がある。そうした団体の安定した運営を図る事を目的に登録団体にダイレクトメールを送付、希望団体の情報をまとめ「メンバー募集カード一覧」を1,000冊作成。磯子区内市民利用施設や18区の生涯学習支援センターへ配架と配布を依頼した結果、反響も大きく問い合わせが40数件あり効果があった。

### ⑨ メンバー募集情報のホームページ掲載

上記団体情報を冊子配布と併せ、社会教育コーナーホームページにも掲載し、周知の広がりをおねらった。ホームページを見ての問い合わせもあり効果があった。

### ⑩ 情報の集約

市内18区の生涯学習・市民活動支援センターの定期発行物（リーフレット・情報紙・グループ情報誌・ボランティア講師情報誌など）を集約し、相談や情報提供に役立てた。

### ⑪ 団体のチラシやポスターの館外掲示と各種チラシ等の情報（団体主催や関連機関などの各種情報）のホームページ掲載を次年度は計画し実施していく。

## 8 他機関・団体等との連携と参画

目的：コーナー事業を館内実施だけにとどまらず、広く各方面と繋がることでコーナーを知ってもらい一緒に事業をすることで、顔の見える関係も構築される。

### ① 横浜山手芸術祭

花と器のハーモニーや横浜山手芸術祭の各実行委員会に参加。事業の一端を担った。

### ② 磯子区内子育て支援ネットワーク

地域子育て拠点「いそピヨ」と健康福祉課が中心となり、「つながるためには」などのテーマを基に話し合いなど行っている。顔の見える関係が少しずつ進んできている。

### ③ 磯子NPO連絡会

NPOのメンバーとの付き合いの中でコーナー事業への協力も多々あり、相互に情報交換していく中で理解も深まった。磯子区役所から事業の参画依頼もあり今後も目的に沿った活動を進めていく。

### ④ 磯子図書館

例年さまざまな読書活動推進に絡み、磯子図書館の協力をお願いすることが多い中で今年度は養成講座を共催事業とした。今まで以上に関連本の貸し出しなどをスムーズに受けることができた。また磯子図書館利用者懇談会にも毎年参加している。

### ⑤ 横浜サンプラザプロジェクト

企業・学生・NPOとの連携を目的に12月のイベントに向け実行委員会に参加した。結果対外的にコーナーの紹介もでき、多くの方とも知り合えた。講師として次年度事業につなげたい。

### ⑥ 読書活動推進プロジェクト

今年度は講座（おはなし会養成講座）の企画運営を担い、大きく前進した年であった。不慣れな中前向きに取り組んだ結果、気づきもあり次へのステップの基礎となる。また定期的に顔を合わせて話し合うことにより相互の理解が進み、今後も子どもの読書活動の推進に期待したい。

### ⑦ 花の土曜会

年間計画に基づき毎月の定例作業とその他必要に応じて月 2 回程度で活動。夏の「おまつりだ！！」では野菜の種苗の販売もし、経済的に自立を進めている。夏に手掛けた「グリーンカーテン」は磯子区役所のコンテストで優秀賞を受けるなど、活躍も目覚ましい。

#### ⑧ 市内・区内の関係機関・団体

定例の磯子区館長連絡会や子育て支援ネットワークに参加、また「いそご区民活動支援センター」とは普段の相談対応とイベントや講師等の情報交換などで密接につながっている。その他団体主催事業などにも出かけた。今後も連携を大切にし業務に活かしていきたい。

#### ⑨ よこはま若者サポートステーション

今年度は5月～6月、9月～10月の年2回（各10日間）、職業体験の場として若者（女性）2人を受け入れ、人と慣れることから社会へ一歩踏み出すきっかけとして対応、若者の自立支援を応援した。

## 9 社会教育コーナー事業の広報・周知

コーナーの事業を区内はもとより、市内の各種機関や施設に依頼して広く広報を行っている。今年度も事業内容により配布先にメリハリをつけて周知していった。また連絡会など顔を合わせる機会での周知や近隣施設などへは直接出向き配架並びに配布の依頼を丁寧に行った。今後も職員全員が動ける体制で臨みたい。

## 10 社会教育コーナーの評価・検証

### ① 利用者会議（別紙参照）

普段利用している登録団体の代表者による懇談会。頂いた意見を管理運営に反映させていく事を目的に実施。今年度も団体の代表から普段の利用時に気が付いたこと（施設管理）と自主事業に関してご意見を頂いた。

日程：1月22日（火）13：30～15：00

### ② 利用者アンケート（別紙参照）

登録団体から施設の利用に関して要望や意見を頂き、管理運営に活かしていくことを目的に実施。

日程：11月1日～11月30日の間実施

回答数：109団体

頂いた意見をまとめたものを館内に貼りだし、皆様へ周知した。

### ③ 事業アンケート

事業（主に講座）実施の最後に受講者へアンケートを配布し、生の声を頂き、今後の事業開催に活かしていくことを目的に実施。

会場・設定時間（曜日）・講師・スタッフなど各項目を作りまたご意見記述も頂いた。おおむね好評であった。

### ④ 「ご提案箱」の設置

来館者から施設や事業に関していつでも気軽に意見・提案を頂くようコーナー事務所窓口に設置。利用者アンケートと同様、頂いた意見や提案を管理運営に活かしている。

## 1 1 社会教育コーナーの防災・防犯対策

### ① 緊急時への対応

緊急時、教委、消防・警察への連絡内容（対応マニュアル）を作成し事務所内に掲示。職員への周知を行なった。

### ② 館内平面図で確認

消火設備や警報装置、避難口の平面図を作成掲示し、防災訓練も実施。消火器の設置場所には直ぐ分るよう表示をしている。

### ③ 津波対策訓練参加

今年度は「津波対策訓練」（市消防局主催）に参加し、緊急時の避難場所や誘導などの認識を新たにした。

## 1 2 生涯学習等に関する研修

① 業務に必要な内容（指定管理者・生涯学習・市民活動）に関連する研修に参加し職場内で研修内容を共有した。

### ② 個人情報保護&人権研修の実施

職員はもとより、アルバイトスタッフ、連携事業実施の関連団体に呼び掛け「しっておきたい個人情報保護&人権（差別用語）」をテーマに研修を行った。

日程：9月7日（金）10：00～12：00

参加者：18人

## 1 3 講師・委員での対応

内容	依頼先
平成24年度支援センター・社会教育指導員新人者研修	市教委生涯学習文化財課
戸塚区区民企画運営講座事業検討会	戸塚区地域振興課
平成24年度磯子図書館利用者懇談会	磯子図書館
栄地区センター指定管理者選定委員会	栄区地域振興課
江戸川総合人生大学講師	江戸川総合人生大学
新たな人材発掘・育成研修（栄区）	市市民局市民活動支援課
新たな人材発掘・育成研修（磯子区）	磯子区地域振興課
横浜市市民活動支援センター事業部会専門委員	市市民局市民活動支援課
磯子区民文化センター指定管理者選定評価委員会	磯子区地域振興課
中区活動団体補助金交付団体事例報告会講師	中区地域振興課

平成 24 年度 生涯学習講座事業報告書（受託事業）

講座名	学校・地域コーディネーター 養成講座
回数	① 講座 4 回（内 1 回は公開講座） ② 見学会 1 回 ③参加校へのヒアリング ④活動報告会
広報活動	教委生涯学習文化財課が、市立学校全校に対し広報を行う
時期	講座研修：6 月 19 日・6 月 26 日・9 月 10 日 学校見学：7 月 5 日 公開研修：8 月 6 日 学校訪問、情報交換：10 月 4 日～11 月 30 日（25 校） 活動報告会：平成 25 年 2 月 2 日
指導者名	教委（生涯学習文化財課）、生重幸恵、笹井宏益、竹迫和代、伴野博美  事例発表：緑小・秋葉中・茅ヶ崎東小・千秀小学校、 見学：新井中学校
参加人数	7 6 人（養成講座参加者のみ）
講座開設に要した経費	8 9 3, 5 5 0 円
事業報告書	別紙冊子 平成 2 4 年度横浜市学校・地域コーディネーター養成講座事業報告書
アンケート結果 (受講生ふりかえりシート含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターが学校に入っていく時、課題が多くあると感じた。そして人と人の関係なので、信頼が重要と思う。</li> <li>・養成講座に参加して少しずつ理解できたかなと思います。自信はありませんが、日々努力していきたいと思います。</li> <li>・地域コーディネーターという名称も知らず今年から活動をするメンバーとして知らないことが沢山ありました。この様な事を保護者のみんなが知って、全員が自分にできることは？と活動してくれれば地域も人の輪もつながるかなと思いました。</li> <li>・学校と地域がつながるといことは、子どもと地域の人になかまになるということなんだなあと思いました。特に生重さんのいちょうの話は印象的でした。苦情が来るということは学校に関心があるということで“対応する”のではなく、それをチャンスにして活動に活かすことができることが分かりました。ありがとうございました。</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この講座を通してコーディネーターについての役割や活動内容への理解が進むよう、また「気づき」に繋がればと思い参加型学習の形態を中心に企画実施した。</li> <li>・参加者の傾向として現 PTA 役員が増えている。この様に参加者の背景の多様化と既に地域で活動している方が多く、様々な活動の合間を縫っての参加が負担な方もあったように見受けられる。</li> <li>・そうした中、受講者の大半は大変積極的であり、他校の情報や活動内容などを積極的に取り入れるなどの工夫が見られた。</li> <li>・広域（市内）から参加することと実施回数などの見直しを含め内容等の再検討や工夫の必要性を感じた。</li> </ul>

(2) 平成 24 年度保守管理維持管理報告書

業務	頻度		備考	実施年月日	実施結果
設備建物維持管理	1 回／月	定期点検	スタッフによる月次点検	別紙「設備点検記録表」のとおり	
	3 回／年	定期点検	業者による点検	別紙「設備点検報告書」のとおり	
空調設備の清掃点検	1 回／2 か月	定期点検	フィルターの清掃・点検	上記記録表・報告書のとおり	
消防用設備点検	2 回／年	定期点検	消防法上定期点検	平成 24 年 5 月 21 日	異常なし
				平成 24 年 10 月 22 日	異常なし
自動ドア点検	2 回／年	定期点検	自動ドア専門メンテナンス（法定点検）	平成 24 年 4 月 11 日	異常なし
				平成 24 年 10 月 15 日	異常なし
非常通報装置点検	2 回／年	定期点検	保守管理	平成 24 年 5 月 21 日	異常なし
				平成 24 年 10 月 22 日	異常なし
防火対象物点検	1 回／年	点検	消防法上必要書類一式点検及び館内点検	平成 24 年 5 月 21 日	異常なし
清掃業務	毎日	日常清掃	館内各部屋とトイレ・回廊等の清掃	別紙「設備点検記録表」のとおり	
	1 回／2 か月		床のワックス及び網戸・ガラス・換気扇等中心	別紙「設備点検報告書」のとおり	
小破修繕	随時			下欄内訳のとおり	

小破修繕内訳書	
日時	内容
5 月 13 日	事務所蛍光灯スイッチ交換
5 月 15 日	中庭雨樋・排水溝の清掃
5 月 29 日	ブラインド修理（13 台）
7 月 4 日	研修室 C ・回廊他蛍光管交換
8 月 3 日	女子トイレ換気扇交換

## (4) 平成24年度管理運營業務収支報告書(委託事業を除く)

単位:円

	内 訳	24年度予算	24年度決算	差引
項目	指定管理料	10,595,000	10,595,000	0
	利用料金収入	3,000,000	3,493,450	493,450
	事業収入	2,859,500	2,810,440	-49,060
	その他収入	300,000	284,244	-15,756
収入合計(A)		16,754,500	17,183,134	428,634
項目	人件費	9,045,000	11,057,078	2,012,078
	管理費	2,600,000	2,052,912	-547,088
	事業費	2,859,500	1,763,739	-1,095,761
	事務費	1,450,000	901,802	-548,198
	利用料金減免費	0	15,600	15,600
	利用者ニーズ 対応費	300,000	528,778	228,778
	公租公課	500,000	645,900	145,900
支出合計(B)		16,754,500	16,965,809	211,309
収支差額(A)-(B)		0	217,325	217,325

平成24年度管理運營業務収支内訳書

単位:円

項目	23年度 コーナ―管理運 營業務収支	24年度 コーナ―管理運營業務収支		備考
	決算	決算	内訳	
収入 (A)	指定管理料	10,595,000	10,595,000	
	利用料金収入	3,513,200	3,493,450	
	自主事業収入	2,694,600	2,810,440	
	その他収入	270,286	284,244	コピー・印刷代・自販機収入等
	小計	17,073,086	17,183,134	
支出 (B)	人件費	11,352,469	11,057,078	給与全般・交通費
	管理費	2,139,273	2,052,912	光熱水費・定期清掃・設備点検等
	自主事業費	1,417,196	1,763,739	
	事務費	968,570	901,802	
	旅費			0
	消耗品			77,979
	会議費(食糧費)			0
	印刷製本			358,087
	通信費			111,600
	備品購入			354,136
	その他事務			
	利用料金減免費		15,600	15,600
	利用減免費			-44,400
	利用料金減免戻し入費			
	二一ズ対応費	337,002	528,778	修繕・新聞・清掃用具・書架整理
税金	322,000	645,900		
小計	16,536,510	16,965,809		
差引収支(A)－(B)	536,576	217,325		



### (3) 平成24年度 生涯学習事業(自主事業)報告書

事業分類	事業名	回数	時期	受講料 (円)	対象	募集人数 (人)	参加者数 (人)	受講料 収入(円)
交流の機 会の創出	おまつりだ!	1	7月14日	0	子どもから大人ま		850	14,340
	大掃除&交流会	1	12月26日	0	登録団体	50	56	0
	おやこの広場(※1)	11	4/23~3/25	150	乳幼児と親		延べ 185	0
	エコカフェ	1	2月16日	300	一般	50	25	7,500
	ベビーマッサージ	4	6/5~3/5	1,000	乳児と親	各16組	58組	58,000
活動・事 業・運 営 支 援	おはなしの国 おはなし会ボランティア養成講座	5	10/19~11/30	1,200	一般	30	27	32,400
	おはなしの国 おはなし会ボラン ティア養成講座 公開講座	1	11月30日	300	一般	70	73	21,900
	読書活動に関わる人のためのボ イストレーニング&交流会(※2)	1	7月3日	500	読書活動 者	50	40	0
	読書活動に関わる人のためのボ イストレーニング教室	4	10/16~11/6	5,000	読書活動 者	20	20	100,000
	学校・地域コーディネーター連絡会	12	4月~3月	0	養成講座 修了生		延べ 121	0
担い手の すそ野を 広げる	グループ活動応援講座	6	10/6~11/10	2,500	一般	25	14	35,000
	おはなし会	11	4/2~13/16	0	子どもから大人ま		延べ 301	0
	家庭教育学級ぱんぷきん(※3)	6	10/2~11/20	2,500	就学前の 子を持つ 親	30	10	30,000
学習機会 の提供	古文書で地元を知る(※4)	1	10月24日	1,000	一般	40	42	0
	美しく歌う 金曜クラス(※5)	8	4/6~7/6	6,300	一般	30	29	363,200
	美しく歌う 土曜クラス(※6)	8	4/14~6/7	6,300	一般	30	29	
	美しく歌う 金曜秋クラス	8	9/14~12/21	6,300	一般	45	41	
	美しく歌う 土曜冬クラス	9	1/12~3/30	7,000	一般	45	48	336,000
	キャンバスにアクリル絵の具を 使って描く	8	5/10~7/12	10,000	一般	20	15	150,000
	キャンバスにアクリル絵の具を 使って描くⅡ	8	1/22~3/12	10,000	一般	15	10	100,000
	シニアのためのゆっくり英会話 23年度(後期)(※7)	9	5/14~7/30	9,000	一般	25	25	241,800
	シニアのためのゆっくり英会話 24年度(前期)	10	9/10~12/17	12,000	一般	24	23	276,000
	シニアのためのゆっくり英会話 24年度(後期)	9	1/14~3/25	9,000	一般	24	14	126,000
	Embrace English!	10	5/9~7/18	13,000	英会話 中級者	15	14	182,000
	もう一度英会話をやってみる(前 期)(※8)	10	9/10~12/17	12,000	一般	25	24	288,000
	もう一度英会話をやってみる(後 期)(※8)	10	1/14~3/25	10,000	一般	25	19	190,000
	おはなしの国 夏のイベント	1	8月21日	0	小学生	15	16	0
英語でトークinISOGO (※9)	3	5/26~7/28	3,000	英会話 中級者	30	40	0	
計						765	2,227	2,810,440

※1:「ばばばる〜ん」との共催事業のため収入は団体へ

※2:「読書活動推進プロジェクト」との共催事業のため収入は団体へ

※3:参加費+おやつ代(@500×10人)

※4:「古文書一九会」との共催事業のため収入は団体へ

※5・※6:参加費を①6,300円(全額納付)②3,500円+1,000円/月(分割納付)に分けた為  
(6,300円×39人)+(3,500円×19人)+(1,000円×51人)が総額

※7:参加費(@9,000×25人)+教材費(@2,100×8人)の合計

※8:前期では参加費10,000円+教材費2,000円の合算金額

※9:「おもいっきり楽しい国際交流」との共催事業のため収入は団体へ

## 平成24年度利用料金収入

単位：円

一般利用	月	研修室A/B	研修室C	アートルーム	トレーニングルーム	スポーツ広場	付帯設備	返金	計	累計
	4月	55,200	38,000	61,600	90,400	46,800	51,700	2,450	341,250	341,250
	5月	43,600	33,400	60,800	80,000	50,500	8,800	0	277,100	618,350
	6月	58,800	27,000	75,200	74,400	49,800	9,900	2,000	293,100	911,450
	7月	51,000	37,000	65,600	88,800	49,800	9,000	900	300,300	1,211,750
	8月	65,600	19,000	56,000	82,400	46,700	6,600	1,900	274,400	1,486,150
	9月	65,400	29,000	54,400	79,200	46,300	7,800	4,100	278,000	1,764,150
	10月	53,400	28,000	59,200	80,800	47,600	6,900	4,400	271,500	2,035,650
	11月	58,000	30,000	68,800	73,600	37,400	9,300	0	277,100	2,312,750
	12月	46,200	33,000	83,200	80,800	29,500	10,800	0	283,500	2,596,250
	1月	58,200	34,000	60,800	72,800	26,900	6,900	0	259,600	2,855,850
	2月	60,600	35,000	70,400	77,600	42,000	10,500	0	296,100	3,159,500
	3月	61,200	42,000	65,600	77,600	45,500	50,700	1,100	341,500	3,493,450
計	677,200	385,400	781,600	958,400	518,800	188,900	16,850	3,493,450		

## 平成24年度利用料金収入

単位：円

	コピー代	自販機売上	シャワー	計	累計
4月	14,495	4,580	0	19,075	19,075
5月	21,991	7,360	0	29,351	48,426
6月	15,711	5,880	0	21,591	70,017
7月	14,008	9,280	500	23,788	93,805
8月	15,485	8,080	0	23,565	117,370
9月	19,917	8,460	0	28,377	145,747
10月	17,694	6,780	0	24,474	170,221
11月	19,512	8,500	2,100	30,112	200,333
12月	11,439	4,220	0	15,659	215,992
1月	17,748	3,660	0	21,408	237,400
2月	14,815	4,840	0	19,655	257,055
3月	19,849	6,340	1,000	27,189	284,244
計	202,664	77,980	3,600	284,244	

## (5) 平成24年度横浜市社会教育コーナー利用状況年間報告書

### 部屋別

		研修室A	研修室B	研修室C	アートルーム	トレーニングルーム	交流スペース	スポーツ広場	午前	午後	夜間	合計
利用人数 (単位:人)		6,294	3,833	5,122	9,157	11,746	1,628	2,338	18,828	15,098	6,192	40,118
	前年	6,252	3,260	3,346	9,858	12,721	3,260	2,157	18,159	15,966	6,729	40,854
利用コマ数		391	395	462	529	1,207	275	532	1,658	1,575	558	3,791
	前年	442	326	296	578	1,323	365	523	1,626	1,604	623	3,853
総コマ数		971	971	971	971	1,942	971	1,207	3,018	3,019	1,967	8,004
利用率		40.3%	40.7%	47.6%	54.5%	62.2%	28.3%	44.1%	54.9%	52.2%	28.4%	47.2%
	前年	45.4%	33.5%	30.4%	59.2%	67.8%	37.3%	43.0%	60.9%	52.5%	35.3%	50.7%
利用率前年対比		88.8%	121.5%	156.6%	92.1%	91.7%	75.9%	102.6%	90.1%	99.4%	80.5%	93.5%

### 月別合計数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
利用人数 (単位:人)		3,067	3,280	3,619	4,140	2,608	3,350	3,725	3,589	2,847	3,048	3,083	3,762	40,118
	前年	3,179	3,288	3,882	4,238	2,669	3,331	3,685	3,356	3,351	2,897	3,482	3,496	40,854
利用コマ数 (※1)		299 (225)	320 (244)	347 (267)	350 (267)	279 (203)	331 (257)	340 (273)	323 (269)	266 (217)	301 (249)	290 (249)	345 (264)	3791 (2984)
	前年	310	300	349	340	262	331	338	333	316	297	345	332	3,853
総コマ数		665 (492)	686 (498)	675 (498)	698 (504)	715 (516)	666 (480)	714 (516)	664 (486)	601 (438)	599 (438)	624 (456)	697 (504)	8,004 (5826)

※1: ( )内数字は研修室・アートルーム・トレーニングルーム5部屋のコマ数

利用率 (※2)		45.7%	49.0%	53.6%	53.0%	39.3%	53.5%	52.9%	55.4%	49.5%	56.9%	54.6%	52.4%	51.2%
	前年	47.0%	47.0%	54.8%	53.2%	36.6%	52.5%	51.6%	53.3%	55.9%	50.9%	56.5%	49.2%	50.7%
利用率前年対比		97.2%	104.3%	97.8%	99.6%	107.4%	101.9%	102.5%	103.9%	88.6%	111.8%	96.6%	106.5%	101.0%

※2: 利用率は研修室・アートルーム・トレーニングルームのみ計上

#### ・利用率向上への取組

研修室Bの机の配置を変更(教室型から口の字型へ)し、講座や打合せ以外(絵画など)で利用がしやすいよう、研修室Cでは少人数での太極拳やコーラス、ダンスの利用が可能なことなどを館内の各所に掲示し、窓口での案内を含め利用促進を図った。

・コーナー事業実施の際、事後グループの案内とフォローを行い、5団体が立ち上がりコーナーを拠点として活動をしている。

・今年度も登録団体同士の交流の機会と利用促進のため、年末に交流会(大掃除)を実施。特別利用枠を1コマ分ずつ増やした結果、参加者も増え事務所ともお互い顔のみえる関係ができてきた。